

# USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN対応 パラレルプリントサーバ

## **Mini-PWF**

PLANEX COMMUNICATIONS INC.



# **USER'S MANUAL**

11Mbps 無線LAN対応 パラレルプリントサーバ

**Mini-PWF**

# 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「液漏」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

## 警告

### ■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。

列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。

医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。

交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でのご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。

電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

## ■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。  
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。  
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。  
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。  
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。  
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。  
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

## ■ 電波に関して

- ・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- ・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2. 4 D S 4

## ■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。  
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。  
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。  
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。  
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。  
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。  
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

## ■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。  
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。  
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り得てください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

## ■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

# 使用前に必ずお読みください

## ■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

## ■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

## ■著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

### ●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

### ●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 目次

本製品を安全にご利用いただくために	2
<b>第1章 はじめに</b>	
1.概要	9
2.特長	10
3.梱包内容の確認	11
4.各部の名称	12
5.付属ユーティリティ&ポートドライバ CD-ROM の内容	15
<b>第2章 インストール</b>	
1.設置場所について	17
2.プリンタへの接続	18
3.電源の接続	19
<b>第3章 Smart Print Manager 3WJによる設定</b>	
1.インストール	21
2.ユーティリティの起動	25
3.設定項目	31
4.アンインストール	44
<b>第4章 WEBブラウザを使用した設定</b>	
1.WEBブラウザからのアクセス	47
<b>第5章 コンピュータの設定</b>	
1.Windows 98/98 SE/Me	73
2.Windows 2000/XP	87
3.Mac OS	114
4.Linux	117
<b>第6章 追加機能</b>	
1.IPP (Internet Printing Protocol)	119
<b>付録A トラブルシューティング</b>	125
<b>付録B DIPスイッチ使用方法</b>	129
<b>付録C 仕様</b>	131
<b>ユーザー登録</b>	132
<b>お問い合わせ</b>	133
<b>質問表</b>	134
<b>保証規定</b>	136
<b>保証書</b>	137



# はじめに

## 1 概要

本製品は、パラレルプリンタを接続する36ピンセントロニクスパラレルポートを1ポート装備し、IEEE802.11/IEEE802.11b規格に準拠した、11Mbps無線LAN機能を持つ、コンパクトタイプのワイヤレスプリントサーバです。本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalkプロトコルに対応しており、Windows XP/2000/Me/98SE/98、Mac OS 8.x/9.x/X、Linuxなど幅広いネットワーク環境で簡単にプリンタの共有をおこなうことが可能です。また、Windows対応の設定ユーティリティによる設定のほか、WEBブラウザによる設定をおこなうことが可能です。

### 注意

- 双方向通信機能必須のプリンタや、WPS (Windows Printing System) を使用したプリンタは使用できません。
- 複合機 (FAX、スキャナ、コピー等) でのご利用はできません。
- Macintosh (AppleTalk) で使用する場合はポストスクリプトプリンタのみ対応です。

- プリンタインタフェースにパラレルポート を装備
- 無線LAN(IEEE802.11/802.11b 規格に準拠)を装備
- 2.4GHz周波数帯を使用
- 14チャンネルサポート
- 11Mbps / 5.5Mbps / 2Mbps / 1Mbpsを自動認識
- インフラストラクチャ、IEEE802.11アドホック、アドホックモードに対応
- ESS-IDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- 11Mbps時50m、5.5/2/1Mbps時150mまでの通信が可能(屋内使用時、最大見通し距離)※1
- TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルに対応
- LED によりプリントサーバのステータス確認が可能
- フラッシュROM 搭載により、ユーティリティからファームウェアのアップデートが可能
- Windows XP/2000/Me/98SE/98、Mac OS X/9.x/8.x、Linux ※2に対応
- SNMP 対応
- DHCP(クライアント)対応
- IPP 「Internet Printing Protocol」対応
- AppleTalk 使用時のバイナリモードサポート
- Windows 専用セットアップユーティリティ付属

※1 使用環境によっては、上記距離を満たせない場合があります。

※2 Linuxは弊社のサポート対象外です。あらかじめご了承ください。

### 3 梱包内容の確認

1

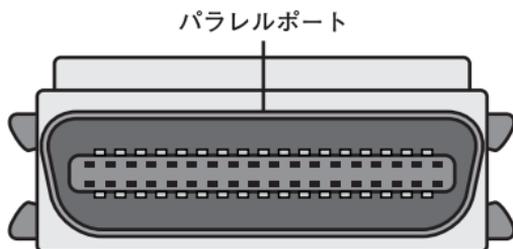
はじめに

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- Mini-PWF 本体
- ユーティリティ&ポートドライバCD-ROM
- AC電源アダプタ
- ユーザーズマニュアル(保証書付)

付属品が足りない場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## ■ 前面



## ■ 上面

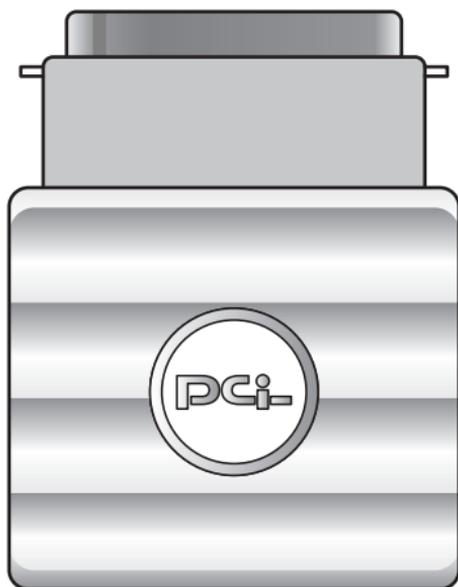


図1-1. Mini-PWFの前面・上面図

## 「パラレルポート」

プリンタに直接接続するパラレルポート(セントロニクス準拠)です。

## ■背面

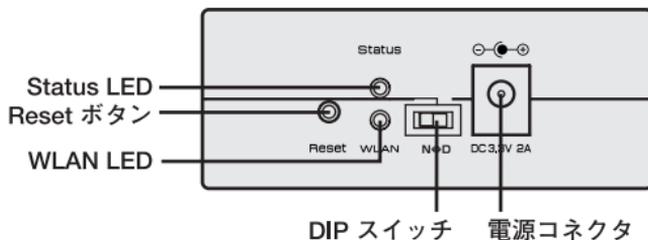


図1-2 Mini-PWFの背面図

### 「電源コネクタ」

AC 電源アダプタを接続します。

### 「DIPスイッチ」

本製品のIPアドレス設定がわからなくなったり、ユーティリティソフトで検出できない場合に使用します。使用方法は「付録B DIPスイッチ使用方法」を参照してください。

### 「WLAN LED」

データの入出力時に緑色に点滅します。

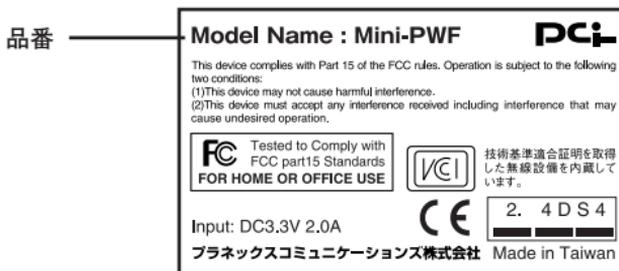
### 「Status LED」

プリントサーバに電源が入るとオレンジ色に点灯します。データの転送中およびプリンタの印刷中は点滅します。

### 「Resetボタン」

システムが正しく応答しなく場合や、機能停止状態になった時に本製品を工場出荷時の設定に戻すことができます。Resetボタンを10秒以上押し続けて離してください。Status LEDとWLAN LEDが交互に点滅したら成功です。

## ■裏面



シリアルナンバー  
 ノードID  
 (MACアドレス)

Serial NO :  
 Node ID :

図1-3 Mini-PWFの裏面図

### 「品番」

本製品の製品型番です。

### 「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザー登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

### 「ノードID (MACアドレス)」

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。

## 付属ユーティリティ& ポートドライバ CD-ROMの内容

本製品付属のユーティリティ&ポートドライバ CD-ROM には以下の内容が入っています。

- Windows専用ユーティリティソフト「Smart Print Manager 3WJ」
- 専用ドライバ「Planex PS Port」



# インストール

## 2

## インストール

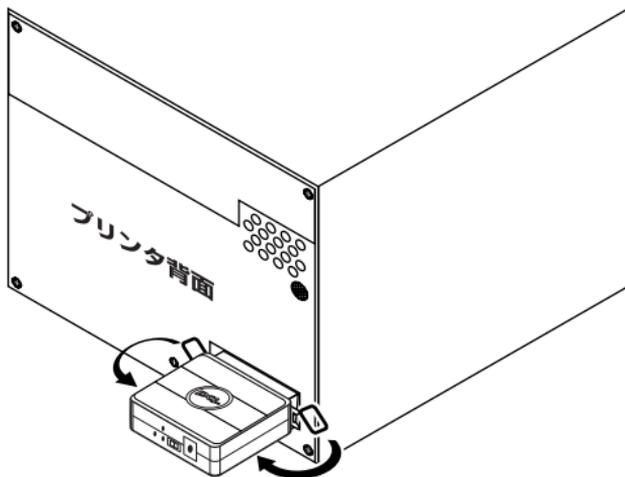
## 1 設置場所について

プリントサーバを設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

- 湿気の多い場所に設置しない
- チリやほこりの多い場所には設置しない
- 直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない
- 内部に熱がこもる原因となるので、周囲にはなるべく空間を空ける

## 2 プリンタへの接続

1. プリンタの平行ポートにプリントサーバのD-SUB36ピンセントロニクス平行ポートを接続します。



※ 必ずツメをかけて固定してください。

図2-1 プリンタの平行ポートとMini-PWFの接続図

2

インストール  
レーション

## 3 電源の接続

1. 本製品背面の電源コネクタに付属のAC電源アダプタを接続します。
2. AC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. 本製品背面のStatus LEDが点灯することを確認します。

### 注意

AC電源アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のAC電源アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のAC電源アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

## 2

## インストールレーション



# Smart Print Manager 3WJ による設定

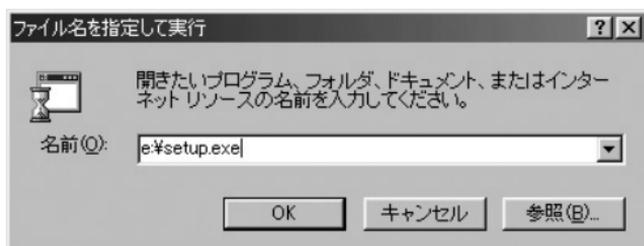
**本** 本製品にはWindows専用の管理ユーティリティ「Smart Print Manger 3WJ」が付属しています。Smart Print Manger 3WJは本製品のネットワーク上での管理及び設定をおこないます。

## 1 インストール

1. 本製品付属のユーティリティ&ポートドライバCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。
2. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



3. 名前の欄にe:\setup.exe (CD-ROMドライブがEドライブの場合)と入力し「OK」をクリックします。



4. インストールウィザードが起動し、「ようこそ」画面が表示されますので「次へ」をクリックします。



5. 「インストール先の選択」ウインドウが表示されます。特に変更しない場合はそのまま「次へ」をクリックします。インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、インストール先を指定します。



6. 「コンポーネントの選択」ウインドウが表示されます。インストールするコンポーネントを選択します。



### Smart Print Manager 3WJ :

Smart Print Manager3WJ本体です。本製品の設定及び管理をおこなうコンピュータにインストールします。

### Planex PS Port :

プリントサーバ用のドライバです。本製品を使用してプリンタから印刷するコンピュータにインストールするときは選択します。

インストールするソフトウェアを選択したら「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。

7. インストールが終了すると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックします。



## 2 ユーティリティの起動

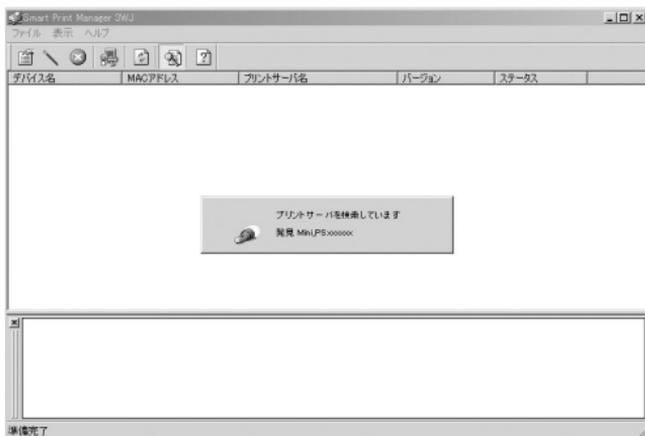
ここではSmart Print Manager 3WJの起動とメインメニューについて説明します。

### ■Smart Print Manager 3WJの起動

1. 「スタート」→「プログラム」→「Smart Print Manager3WJ」をクリックします。

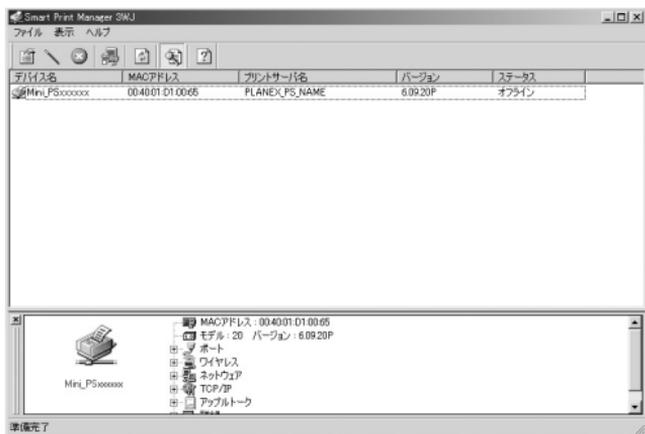


2. Smart Print Manager 3WJが起動し、メインメニュー画面が表示されます。自動的にネットワークと接続しているプリントサーバを検索し、一覧を表示します。



## ■メインメニュー

メインメニューではネットワーク上の本製品の一覧が表示されます。



### 「デバイス名」

本製品に設定されている識別用のデバイス名です。デフォルトでは Mini\_PSxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの後半6桁)です。

### 「MACアドレス」

本製品のMACアドレスです。

### 「プリントサーバ名」

本製品に設定されたネットワークで使用されるプリントサーバ名です。デフォルトでは PLANEX\_PS\_NAME です。

### 「バージョン」

本製品のファームウェアバージョンです。

### 「ステータス」

プリンタのステータス状態を表示します。

メインメニュー下部の情報表示バーには一覧から選択した本製品の設定情報が表示されます。

## ■アイコン

メインメニュー上部のアイコンをクリックすると下記の設定をおこないます。

### Properties (プロパティ)

プロパティはメインメニューの一覧から選択した本製品の詳細設定をおこないます。設定方法は次項の「設定項目」を参照してください。



### Wizard (ウィザード)

ウィザードはTCP/IPやNetWareを手軽に設定することができます。ウィザードを使用するときはこのアイコンをクリックしてください。TCP/IPまたはNetWareの設定のいずれかを選択してください。ウィザードを使用することで各設定項目を順番に設定していきます。各項目の説明に関しては次項の「設定項目」を参照してください。



### Reset (再起動)

本製品の再起動をします。メインメニューの一覧から再起動したいプリントサーバを選択して、アイコンをクリックしてください。



## Upgrade(アップグレード)

本製品のファームウェアをアップグレードするときに使用します。  
アップグレードは以下の手順でおこなってください。



- 1.** アップグレード用のバイナリファイル(mps20.bin)を Smart Print Manager 3WJ のインストール先のフォルダにコピーしておきます。  
(インストール時に特にインストール先の選択をしていない場合は“c:¥¥Program Files¥Network Print Server”にインストールされています。)
- 2.** メインメニューの一覧からアップグレードする本製品を選択して、Upgradeアイコンをクリックします。
- 3.** 「アップグレード」ウィンドウが表示されますので、「ローカルアップグレード」を選択します。
- 4.** 「次へ」をクリックしてください。ファームウェアのアップグレードが開始されます。

### 注意

最新のファームウェア情報に関しましては弊社WEBページ上にてご確認ください。  
(<http://www.planex.co.jp/>)

### Refresh (更新)

ネットワークと接続しているプリントサーバの情報を更新します。  
アイコンをクリックするとネットワーク上の本製品を再検索します。



### Toggle Infoview Bar (情報)

選択されたプリントサーバの詳細情報が表示されます。



### About (ユーティリティ情報)

Smart Print Manager 3WJのバージョン情報が表示されます。



## 3 設定項目

Smart Print Manager 3WJの各種設定項目について説明します。

1. メインメニューから設定をおこなう本製品を選択して、ツールバーのPropertiesアイコンをクリックしてください。Propertiesウィンドウが表示されます。
2. Propertiesウィンドウの各タブは以下の情報表示または設定をおこないます。

### ■一般

#### 一般情報

ここでは本製品の基本的な情報が表示されます。



### ●デバイス情報

本製品の情報です。

#### 「MACアドレス」

本製品のMACアドレスが表示されます。

#### 「バージョン」

本製品のファームウェアバージョンです。

#### 「モデル」

本製品のモデル番号が表示されます。

#### 「プリントポート」

本製品のプリンタポート数です。

#### 「デバイス名」

本製品に設定されている識別用のデバイス名です。デフォルトでは Mini\_PSxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの後半6桁)です。

### ●パスワード設定

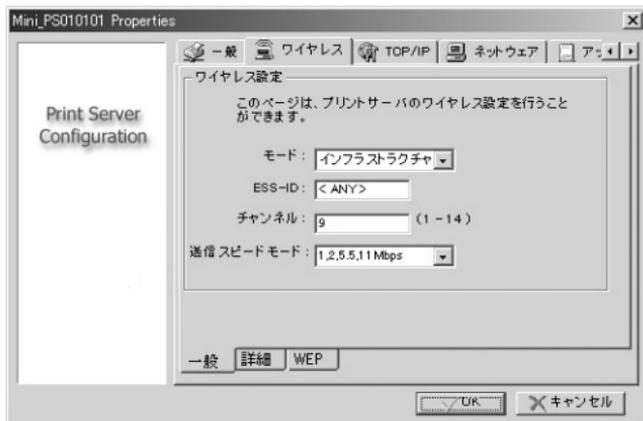
本製品の設定を変更するためのパスワードを設定することができます。

## ■ワイヤレス

### ワイヤレス設定

本製品のワイヤレス設定をおこないます。

### ●一般設定



### 「モード」

ネットワークモードの選択をおこないます。

無線LANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードと802.11アドホックモードがあります。

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「インフラストラクチャ」を選択してください。アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「アドホック」または「802.11アドホック」を選択してください。それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定をおこなってください。

	アドホック	IEEE802.11 アドホック
ESSID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要あり	設定必要無し

### 「ESS-ID」

プリントサーバが検出しているESS-IDが一覧に表示されます。一覧から選択するか、直接入力してください。

ESS-IDを指定することにより無線LANグループを作成する事が可能になります。

ESS-IDを指定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ません。

### 「チャンネル」

使用されるネットワーク環境に合わせてチャンネルを設定してください。

複数のチャンネルが混在する環境で使用される場合は必ず各チャンネルの間を3つ以上空けてください。

### 「送信スピードモード」

アクセスポイントとの通信速度を設定します。

無線LANでは、通信速度が遅いほど通信距離が伸びパケットの損失率は下がります。

アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は通信速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

## ● 詳細設定



### 「ビーコン間隔」

ビーコン間隔の時間を設定します。デフォルトでは100に設定されています。

0～65535まで設定可能です。

### 「フラグメンテーション」

フラグメンテーションの長さを設定します。デフォルトでは2346に設定されています。

256～2346まで設定可能です。

### 「プリアンブル」

プリアンブルの長さを設定します。ロングとショートが選択できます。デフォルトではロングに設定されています。

### 「認証タイプ」

認証タイプはWEPの規格で、「オープン」と「シェアードキー」と2種類あります。MacintoshとWindowsなどを接続する場合は「オープン」を選択します。自動的に選択する場合は「オート」を選択します。

## ●WEP設定



### 「WEP」

WEP暗号化の有効、無効を設定します。暗号強度は64bit、128bitの2種類から選択することができます。いずれかのキー長を選択します。

### 「キーフォーマット」

キー作成のフォーマットを選択します。選択できるフォーマットは文字列(a~z, A~Z, 0~9)と16進数(A~F, 0~9)です。

### 「キー 1」

WEP キーを入力します。選択したフォーマットに従って入力してください。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。



### 注意

64-bit WEPキーを選択した場合、作成できるキーは5桁の文字列か10桁の16進数になります。例：AbZ12（文字列） ABCDEF1234（16進数）  
128-bit WEPキーを選択した場合、作成できるキーは13桁の文字列か26桁の16進数になります。

## ■TCP/IP

### TCP/IP設定

本製品のTCP/IPの設定をします。



#### 「IPアドレスを自動的に取得」

ネットワーク上にDHCPサーバがあり、DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合にはこちらを選択します。

#### 「IPアドレスを指定」

本製品に割り当てるIPアドレスを固定するときはこちらを選択します。通常はこちらを選択することを推奨します。

#### IPアドレス：

割り当てるIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定は「192.168.1.200」です。

#### サブネットマスク：

サブネットマスクを入力します。工場出荷時の設定は「255.255.255.0」です。

#### ゲートウェイ：

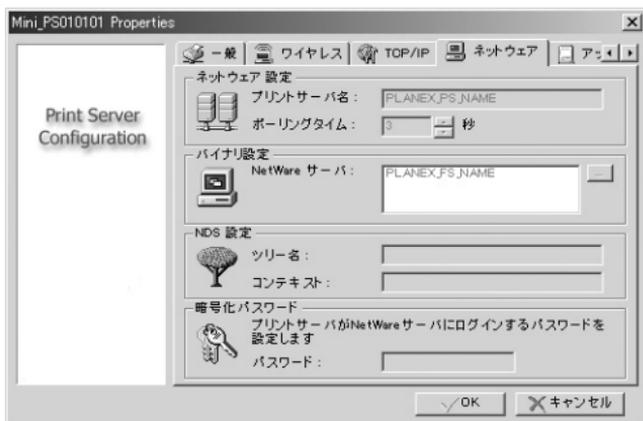
デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定は「192.168.1.1」です。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。

## ■ネットワークア

### ●ネットワークア (NetWare) 設定

ネットワークアを設定します。



#### プリントサーバ名:

ネットワークア上で使用される本製品の識別名です。

#### ポーリングタイム:

本製品がNetwareサーバを検索する間隔です。3～29秒の範囲で設定できます。

### ●バイナリ設定

印刷時にバイナリモードを使用するための設定をおこないます。

#### ネットワークアサーバ:

使用するNetWareサーバを選択します。

**●NDS設定**

NDSを使用するための設定をおこないます。

**ツリー名：**

NDSのツリー名を設定します。

**コンテキスト：**

NDSのコンテキストを設定します。

**●暗号化パスワード**

本製品がNetwareサーバのログインに使用するパスワードを設定します。

**パスワード：**

Netwareサーバにログインするパスワードを設定します。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。

## ■アップルトーク



### ●アップルトーク設定

アップルトークの設定をします。

#### ゾーン名：

特定のゾーンに接続するときはゾーン名を入力します。

#### ポート名：

ポート名を入力します。通常は工場出荷時の設定を推奨します。

### ●プリンタタイプ

本製品に接続しているプリンタについて設定します。

#### プリンタタイプ：

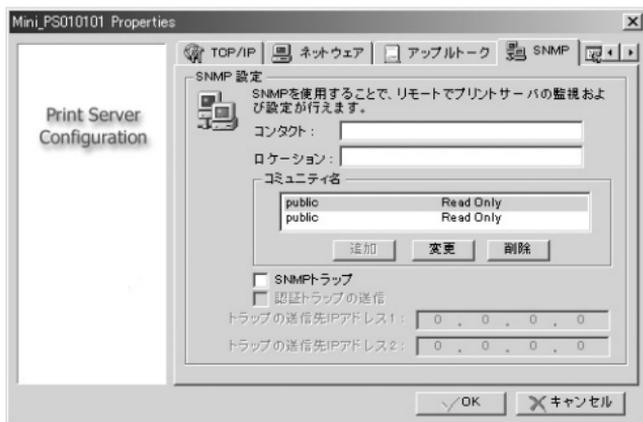
本製品と接続されているプリンタのモデルを設定します。

#### データフォーマット：

PostScript対応のプリンタを使用している場合はASCII、TBOP、BCPのデータフォーマットを選択します。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。

## ■SNMP



### ●SNMP設定

ここではSNMPを使用して本製品を管理するための設定をします。

#### コンタクト:

管理者の情報を設定します。管理上分かりやすい値を入力する事を推奨します。

#### ロケーション:

本製品の設置場所を設定します。管理上分かりやすい値を入力する事を推奨します。

#### コミュニティ名:

本製品へのアクセス権を設定します。コミュニティは2個まで設定できます。コミュニティ名は任意の名称が設定できますが、同じコミュニティ名の端末からしかアクセスできません。コミュニティ名はアクセス権限がそれぞれ設定でき、「ReadOnly(読み込み専用)」または「Read/Write(読み書き可能)」から選択できます。

#### SNMPトラップ:

管理端末にトラップを送信させるときにはチェックをします。

### 認証トラップ:

認証トラップを使用するときにはチェックします。

### トラップ送信先:

トラップを送信する管理端末のIPアドレスを設定します。管理端末は2台まで設定できます。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。

## ■ 詳細



### ● 設定

本製品で使用する機能を設定します。

#### Netwareのバイナリプリンティングを有効にする。 :

Netwareのバイナリプリンティングを使用するときはチェックを入れます。

**NetwareのNDSプリンティングを有効にする。：**

NetwareのNDSプリンティングを使用するときはチェックをします。

**LPD/LPRプリンティングを有効にする：**

LPD/LPRプリンティングを使用するときはチェックをします。

**●プリンタ**

プリンタの速度にあわせて本製品の速度を設定します。プリンタの印刷速度が間に合わないときは速度を遅くします。

**速い：**

プリントサーバの転送速度を速くします。

**普通：**

通常のプリントサーバの転送速度です。

**遅い：**

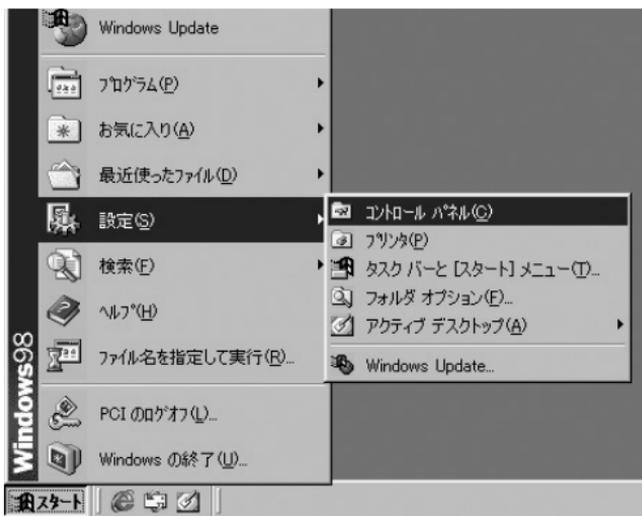
プリントサーバの転送速度を遅くします。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され、本製品が再起動されます。

## 4 アンインストール

Smart Print Manager 3WJをコンピュータから削除するときは以下の手順でおこなってください。

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。  
WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



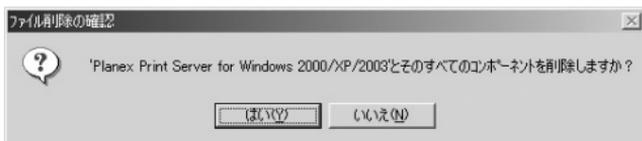
2. 「アプリケーションの追加と削除」または「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。



3. 「インストールと削除」タブのリストの中に「Network Print Server For Windows 2000/XP/2003」または「Network Print Server For Windows 98/98SE/Me」を選択し、「追加と削除」または「変更と削除」をクリックします。



4. アンインストールの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックします。インストールされたソフトウェアのアンインストールが開始されます。



# WEBブラウザを使用した設定

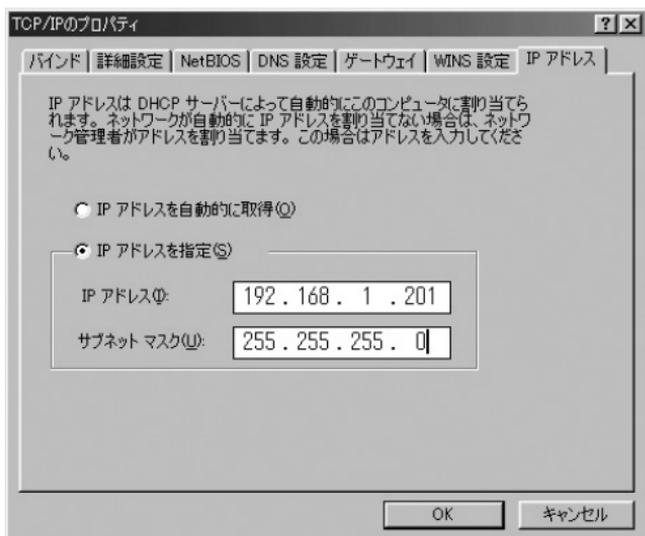
**本** 製品はWEBブラウザによる設定をサポートしています。Windows以外のOSをご利用の場合はWEBインターフェースから設定をおこないます。

## 注意

Internet Explorer 4.0またはNetscape 4.0以上のブラウザを使用してください。WEBブラウザを使用して設定をおこなう前に、本製品のIPアドレスを確認してください。設定されていない場合は「Smart Print Manager3WJ」のユーティリティを使用してIPアドレスを設定してください。工場出荷時の設定ではIPアドレスは192.168.1.200が割り当てられています。

## 1 WEBブラウザからのアクセス

1. 本製品にアクセスするコンピュータのIPアドレスを設定します。工場出荷時の本製品を設定するときは、IPアドレスを192.168.1.1～199、201～254の間で設定してください。サブネットマスクは255.255.255.0に設定してください。



## ⚠ 注意

工場出荷時の本製品のIPアドレスは192.168.1.200、サブネットマスクは255.255.255.0に設定されています。

2. コンピュータのWEBブラウザを起動します。WEBブラウザの「アドレス」または「場所」に本製品のIPアドレスを入力します。「Enter」キーを押してください。

### 3. 本製品のWEB設定画面が表示されます。



#### 設定画面の構成

本製品の設定画面は上側のメニュー画面と下側の設定画面で構成されています。メニュー画面から設定したい項目をクリックすると設定画面が切り替わります。

## ■ステータス

ステータスでは、本製品の設定情報及び状態が表示されます。

### ◎システム

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「システム」をクリックします。システムのステータスが表示されます。



#### 「デバイス名」

本製品のデバイス名として設定した名前が表示されます。

#### 「管理者情報」

本製品に管理者情報として設定した情報が表示されます。

#### 「設置場所」

本製品に設置場所として設定した情報が表示されます。

#### 「起動時間」

本製品が稼動している時間が表示されます。電源を投入してからまたは再起動してから経過した時間です。

#### 「ファームウェアバージョン」

プリントサーバのファームウェアバージョンが表示されます。

## 「ワイヤレスMACアドレス」

プリントサーバのMACアドレスが表示されます。

## 「ワイヤレスオペレーションモード」

プリントサーバのオペレーションモードが表示されます。通常動作時はノーマルモード、DIPスイッチを使用している場合は診断モードと表示されます。

### ◎プリンタ

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「プリンタ」をクリックします。プリンタのステータスが表示されます。



### 「製造メーカー」

プリンタの製造元の会社名が表示されます。

### 「モデルナンバー」

プリントサーバと接続されているプリンタのモデル（型/品番）が表示されます

### 「印刷言語サポート」

サポートされている言語が表示されます。

### 「ステータス」

プリンタの状態が表示されます。

## ◎ワイヤレス

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「ワイヤレス」をクリックします。現在の無線ステータスが表示されます。



### 「モード」

プリントサーバの通信モードが表示されます。

### 「アクセスポイントMACアドレス」

通信をおこなっているアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

### 「ESS-ID」

設定されているESS-IDが表示されます。なにも設定していない場合は<ANY>と表示されます。

### 「チャンネル」

設定されているESS-IDが表示されます。

### 「送信スピードモード」

設定されている送信スピードが表示されます。

### 「暗号化モード」

WEP暗号化の有効、無効が表示されます。

## ◎TCP/IP

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「TCP/IP」をクリックします。TCP/IPのステータスが表示されます。



### 「DHCP」

DHCPクライアント機能の ON / OFF が表示されます。

### 「IPアドレス」

本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。

### 「サブネットマスク」

本製品に設定されているサブネットマスクが表示されます。

### 「ゲートウェイ」

本製品に設定されているゲートウェイアドレスが表示されます。

## ◎ネットワークア (Netware)

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「ネットワークア」をクリックします。ネットワークアのステータスが表示されます。



### 一般設定

#### 「プリントサーバ名」

本製品に設定されたNetWareで使用するプリントサーバ名が表示されます。

#### 「ポーリングタイム」

NetWareサーバへのアクセス間隔が表示されます。

### NDS (Novell Directory Service) 設定

#### 「NDSモード」

NetWareのNDSモードの情報が表示されます。

#### 「NDSツリー名」

NetWareのNDSツリー名が表示されます。

### 「コンテキスト名」

NetWareのコンテキスト名が表示されます。

### 「ステータス」

NetWareのNDS印刷の状態が表示されます。

### バイナリ設定

#### 「バイナリ設定」

NetWareのバイナリモードの有効、無効が表示されます。

#### 「ファイルサーバ名」

登録されているファイルサーバ名が表示されます。

#### 「ステータス」

NetWareのバイナリ印刷の状態が表示されます。

## ◎アップルトーク

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「アップルトーク」をクリックします。アップルトークのステータスが表示されます。



Mini\_PS010101

ステータス 設定 ファームウェア 再起動

システム プリンタ ワイヤレス TCP/IP ネットウェア アップルトーク SNMP

このページは、プリントサーバの現在のアップルトーク設定を表示します。

アップルトーク設定	
ゾーン名:	*

プリンタ情報	
ポート名:	ATALK_PS-010101-1
プリンタタイプ:	LaserWriter
データフォーマット:	TBCP

## アップルトーク設定

### 「ゾーン名」

ゾーン名が表示されます。ネットワークにゾーンが存在しない場合は\*が表示されます。

## プリンタ情報

### 「ポート名」

設定されているプリントサーバのポート名が表示されます。

### 「プリンタタイプ」

プリントサーバと接続されているプリンタのモデル(型/品番)が表示されます。

### 「データフォーマット」

プリントサーバに設定されているデータのフォーマットが表示されます。PostScript対応のプリンタを使用している場合はASCII、TBCP、BCPのデータフォーマットのいずれかが表示されます。

## ◎SNMP

上側のメニューから「ステータス」をクリックし、「SNMP」をクリックします。SNMPのステータスが表示されます。



### 一般設定

#### 「SNMPコミュニティ」

本製品に設定されているSNMPコミュニティ名が表示されます。本製品のメッセージをコントロールできるコミュニティ名は2つあります。

### SNMPトラップ設定

#### 「SNMPトラップ」

SNMPトラップの有効、無効が表示されます。

#### 「認証許可トラップ」

SNMPトラップ認証の有効、無効が表示されます。

#### 「トラップIP」

トラップを送信する管理端末のIPアドレスを設定します。管理端末は2台まで設定できます。

## ■設定メニュー

本製品の各種設定ができます。

### ◎システム設定

上側のメニューから「設定」をクリックし、「システム」をクリックします。システムの設定画面が表示されます。



#### 「デバイス名」

本製品のデバイス名を設定します。管理上分かりやすい値を入力する事を推奨します。

#### 「管理者情報」

本製品の管理者情報を設定します。管理上分かりやすい値を入力する事を推奨します。

#### 「設置場所」

本製品の設置場所を設定します。管理上分かりやすい値を入力する事を推奨します。

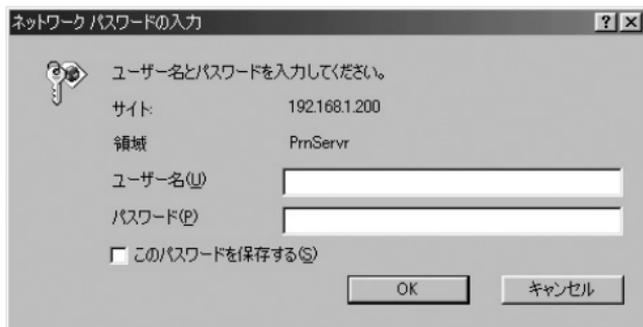
## パスワード設定

### 「新しいパスワード」

本製品の設定を変更するためのパスワードを設定することができます。

### 「パスワード(再入力)」

パスワードの確認用です。「パスワード設定」で入力したパスワードを再度入力してください。同じパスワードを入力しない場合はパスワードが設定されません。パスワードを設定した後は、ステータスメニュー以外の項目へアクセスすることはできません。ステータスメニュー以外の項目へアクセスした場合は、認証ウィンドウが表示されます。



### 「ユーザー名」

ログインユーザー名には「admin」を使用してください。

### 「パスワード」

工場出荷時の設定には、パスワードは設定されていません。パスワードを設定したあとは設定したパスワードを使用してください。

## ◎ワイヤレス設定

上側のメニューから「設定」をクリックし、「ワイヤレス」をクリックします。ワイヤレスの設定画面が表示されます。

このページは、プリントサーバの無線設定を行うことができます。

注意!ほとんどのユーザは、デフォルト設定を使用することで問題ありません。これらの設定に精通していない場合は、デフォルト設定のまま使用することを推奨します。

基本設定	
モード:	Infrastrakチャ
ESS-IDを一覧から取得 又は入力:	< ANY > < ANY > <input type="button" value="サイトサーバイ"/>
チャンネル:	9 (日本: 1 - 14)
送信スピードモード:	自動
<input type="button" value="アドバンスド設定"/>	

アドバンスド設定	
ピーコン間隔:	100 (0 - 65535, デフォルト値: 100 ms)
プリアンブル:	ロング (デフォルト値: ロング)
認証許可タイプ:	オープン

WEP設定	
WEPを使用する:	無効
キーフォーマット:	文字列
WEPキー:	<input type="text"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>

### 基本設定

#### 「モード」

通信方式を選択します。無線LANネットワークには、アクセスポイントを使用して、それぞれのクライアントが通信するインフラストラクチャモード、またはアクセスポイントを使用せずにそれぞれのクライアント同士が通信するアドホックモードと802.11アドホックモードがあります。

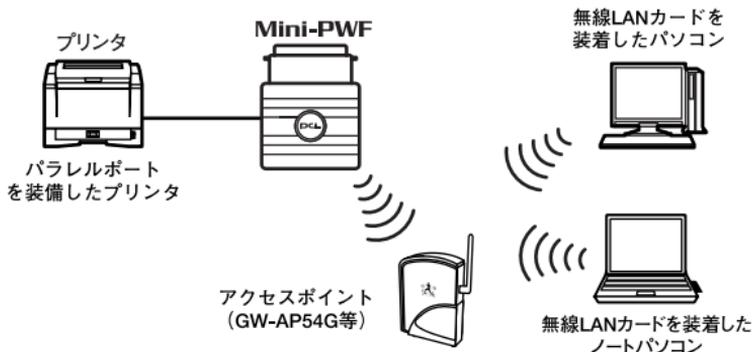


図4-1 インフラストラクチャモード

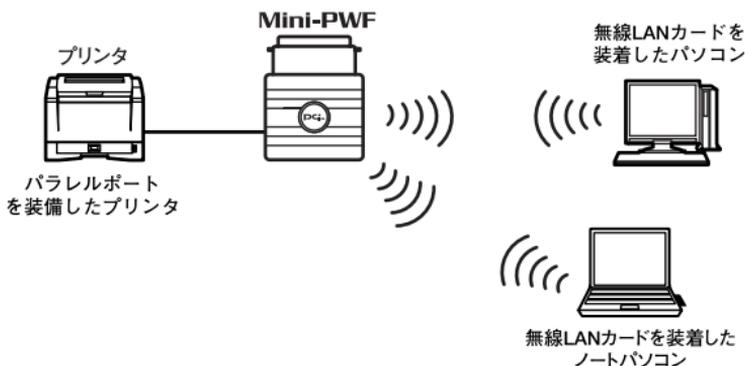


図4-2 アドホックモード

### 「ESS-IDを一覧から取得、又は入力」

本製品が検出しているESS-IDが一覧に表示されます。一覧から選択するか、直接入力してください。

ESS-IDを指定することにより無線LANグループを作成する事が可能になります。

ESS-IDを指定した場合は同じIDをもつ無線機器またはアクセスポイントしか通信が出来ません。

### 「サイトサーベイ」

使用可能なアクセスポイントの状態を参照します。

### 「チャンネル」

使用されるネットワーク環境に合わせてチャンネルを設定してください。

複数のチャンネルが混在する環境で使用される場合は必ず各チャンネルの間を3つ以上空けてください。

### 「送信スピードモード」

送信速度を設定することが出来ます。

自動/11/5.5/2/1Mbpsから選択可能です。

無線LANでは、通信速度が遅いほど通信距離が伸びパケットの損失率は下がります。

アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は通信速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

## アドバンスド設定

### 「ビーコン間隔」

ビーコン間隔の時間を設定します。デフォルトでは100に設定されています。

0~65535まで設定可能です。

### 「プリアンプル」

プリアンプルの長さを設定します。ロングとショートが選択できます。

デフォルトではロングに設定されています。

### 「認証タイプ」

認証タイプは、WEPの規格で、「オープン」と「シェアードキー」の2種類あります。MacintoshとWindowsなどを接続する場合は「オープン」を選択します。自動的に選択する場合は「オート」を選択します。

## WEP設定

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定してください。

### 「WEPを使用する」

WEP暗号化の有効、無効を選択できます。

WEP暗号化には64bit WEPと128bit WEPの2種類があります。

### 「キーフォーマット」

キー生成の方式を選択できます。選択できるフォーマットは文字列 (a~z, A~Z, 0~9) と16進数 (A~F, 0~9) です。

### 「WEPキー」

WEPキーを入力します。選択したフォーマットに従って入力してください。

#### 注意

64bit WEPキーを選択した場合、作成できるキーは5桁の文字列か10桁の16進数になります。例：AbZ12 (文字列) ABCDEF1234 (16進数)

128bit WEPキーを選択した場合、作成できるキーは13桁の文字列か26桁の16進数になります。

## ◎TCP/IP設定

上側のメニューから「設定」をクリックし、「TCP/IP」をクリックします。TCP/IPの設定画面が表示されます。



### TCP/IP設定

#### 「IPアドレスを自動的に取得する」

ネットワーク上にDHCPサーバがあり、DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合にはこちらを選択します。

#### 「IPアドレスを固定で設定する」

本製品に割り当てるIPアドレスを固定するときはこちらを選択します。通常はこちらを選択することを推奨します。

#### IPアドレス：

割り当てるIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定は「192.168.1.200」です。

#### サブネットマスク：

サブネットマスクを入力します。工場出荷時の設定は「255.255.255.0」です。

## ゲートウェイ:

デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定は「192.168.1.1」です。

## ◎ ネットウェア (Netware) 設定

上側のメニューから「設定」をクリックし、「ネットウェア」をクリックしてください。ネットウェアの設定画面が表示されます。

このページは、プリントサーバのネットウェア機能を設定できます。

**一般設定**

プリントサーバ名:

ポーリングタイム:  秒 (最小: 3, 最大: 29 秒)

ログインパスワード:

**NDS設定**

NDSモードを使用する:

ツリー名:

コンテキスト名:

**バイナリ設定**

バイナリモードを使用する:

ファイルサーバ名:

### 「プリントサーバ名」

NetWare上で使用する本製品の名前を設定します。

### 「ポーリングタイム」

本製品がNetWareサーバを検索する間隔を設定します。3～29秒の範囲で設定できます。

**「ログインパスワード」**

本製品がNetWareサーバのログインに使用するパスワードを設定します。

**「NDSモード」**

NDS（Novell Directory Service）環境を使用する場合は、NDSモードを「有効」に設定してください。

**「ツリー名」**

NDS環境にツリー名はある場合は、選択してください。

**「コンテキスト名」**

NetWareのコンテキスト名を入力します。

**「バイナリモード」**

NetWare環境でバイナリモードを使用する場合は、「バイナリモードを使用する」を「有効」に設定してください。

**「ファイルサーバ名」**

バイナリモードで使用するファイルサーバ名を選択してください。ネットワークにファイルサーバが存在しない場合は、選択できません。

## ◎アップルトーク設定

上側のメニューから「設定」をクリックし、「アップルトーク」をクリックします。アップルトークの設定画面が表示されます。



### 「ゾーン名」

本製品を1つのグループに属する場合は、名前を入力してください。ネットワークにゾーンが存在しない場合は、「ステータスメニュー」の「アップルトーク」→「ゾーン名」には \* が表示されます。

### 「ポート名」

識別用のポート名を設定します。通常は工場出荷時の設定を推奨します。

### 「プリンタタイプ」

本製品と接続されているプリンタのモデルを設定できます。

### 「データフォーマット」

PostScript対応のプリンタを使用している場合はASCII、TBCP、BCPのデータフォーマットから選択します。

## ◎SNMP セットアップ

上側のメニューから「設定」をクリックし、「SNMP」をクリックします。SNMPの設定画面が表示されます。



### 「SNMPコミュニティ名」

本製品にSNMPを使用してアクセスする為のコミュニティ名を設定します。本製品はコミュニティ名を2つまで設定できます。

### 「プリビレッジ」

SNMPコミュニティのアクセス権限を「読込のみ」または「読み書き可能」から選択します。工場出荷時の設定は「public、読み取り専用」です。本製品は2つまで設定できます。

### 「SNMPトラップ」

管理端末にSNMPトラップを送信する場合には「有効」に設定します。

### 「認証許可トラップ」

管理端末に認証許可トラップを送信する場合には「有効」に設定します。

## 「トラップIP」

トラップを送信する管理端末のIPアドレスを設定します。管理端末は2台まで設定できます。

## ■ファームウェア

### 初期化：

本製品を工場出荷時の設定に戻すときにクリックします。

確認のメッセージが表示されますので工場出荷時の設定に戻すときは「OK」をクリックします。



## ファームウェアアップグレード：

1. ファームウェアのアップグレードをおこないます。アップグレード用ファイル (mps20.bin) をフルパスで指定するか「参照」をクリックして選択します。
2. 「アップグレード」をクリックします。ファームウェアのアップグレードが開始されます。



### 注意

最新のファームウェア情報に関しましては弊社WEBページ上にてご確認ください。  
(<http://www.planex.co.jp/>)

## ■再起動

本製品を再起動するときに使います。再起動する場合は「OK」をクリックします。



## 4

### WEBブラウザを使用した設定

# コンピュータの設定

**本** 製品はWindows 98/98SE/Me/2000/XP、Mac OS、Linuxからの印刷に対応しており、さまざまなネットワーク環境での使用が可能です。ここでは標準的な4種類のネットワーク環境について、本製品のインストール概要の例をあげて説明します。

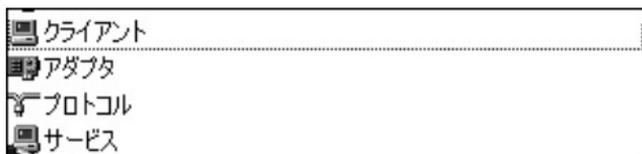
## 1 Windows 98/98SE/Me

### ■プロトコルのインストール

本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。本製品プリントサーバを使用する場合は必要なプロトコルをインストールしてください。ここでは現在一般的に使用されているTCP/IPプロトコルについて説明します。

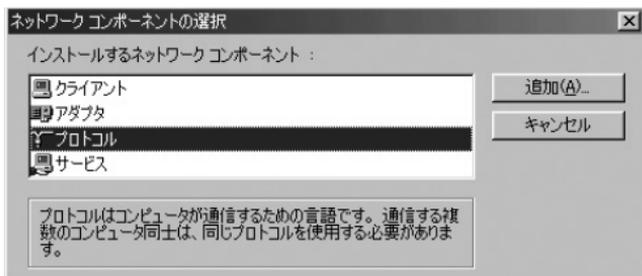
1. [マイコンピュータ] を開き、そこから [コントロールパネル] を開きます。

2. [ネットワーク]を開きます。「ネットワークの設定」の「現在のネットワークコンポーネント」で、現在のネットワークの設定状況を表しています。左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。



「現在のネットワーク構成」の中に「TCP/IP」が入っていない場合は、以下の手順で「TCP/IP」プロトコルを追加してください。すでに「TCP/IP」が入っている場合は、6.に進んでください。

3. [追加]をクリックすると「ネットワークコンポーネントの選択」ウインドウが開きます。「プロトコル」をクリックし[追加]をクリックします。

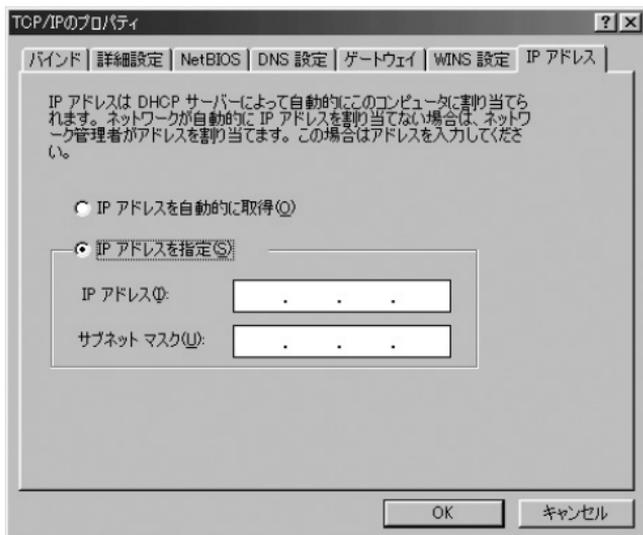


4. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「TCP/IP」をクリックして[OK]をクリックします。ネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが追加されます。



5. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ(ネットワークアダプタ)ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。
6. 「TCP/IP」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

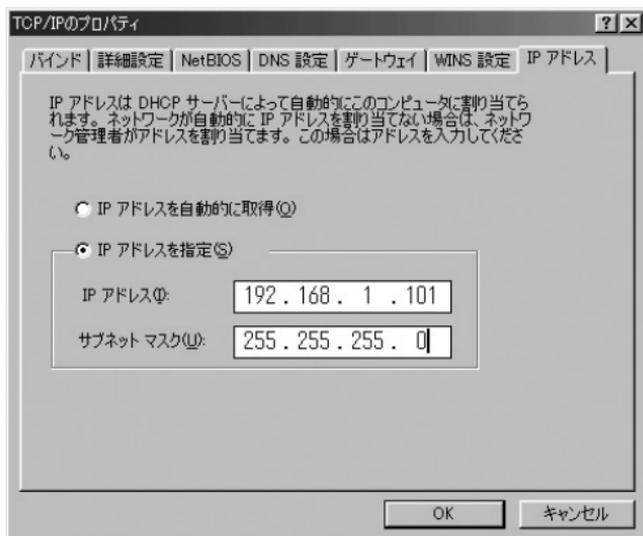
7. 「IPアドレス」タブを選択して、IPアドレスを設定します。初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得」がチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「IPアドレスを指定」をチェックします。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。



### ⚠ 注意

ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。

8. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス(Class C)として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。本製品には工場出荷時の設定で「192.168.1.200」が割り当てられていますので、コンピュータに「192.168.1.1～199、201～254」の中からIPアドレスを割り当てます。



### ⚠ 注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。また、サブネットマスクは通信可能な範囲を決めます。サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合は、「xxx.xxx.xxx.1～254」の間の機器同士で通信可能ですのでこの範囲内で任意に固有のアドレスが設定できます。

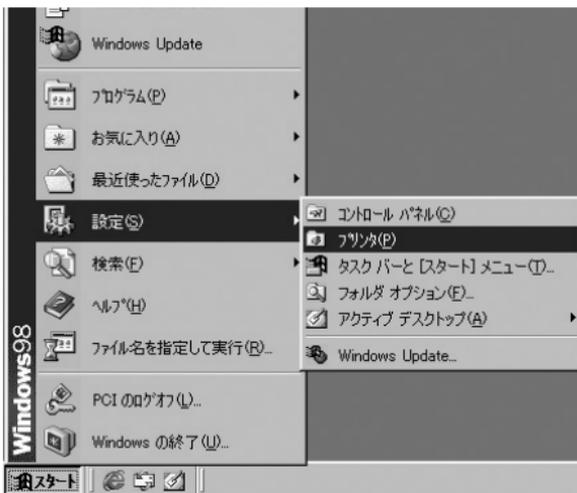
9. IPアドレスの設定が終わったら[OK]をクリックし「TCP/IPのプロパティ」を閉じてください。

10. 全ての設定が終了したら「ネットワーク」のプロパティの[OK]をクリックします。コンピュータを再起動するか聞いてきますので「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

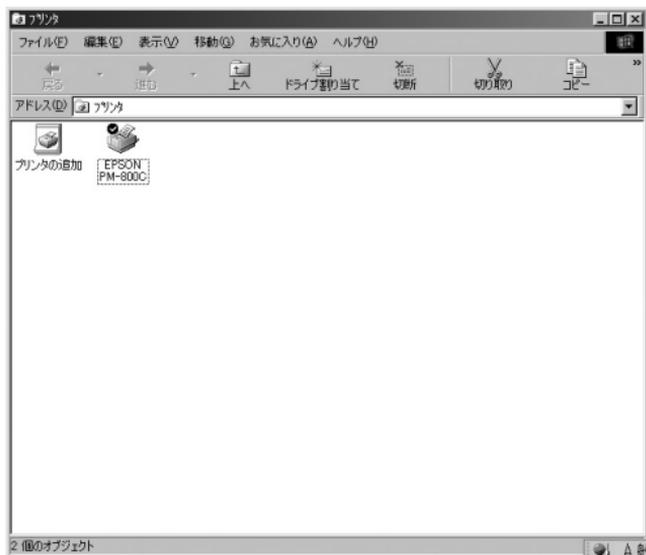
### ■プリンタの設定

ここではすでにネットワークの設定が完了していることを前提にしております。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。

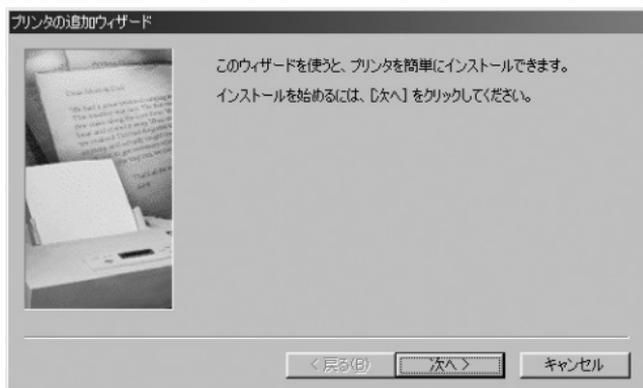
1. 「第3章 Smart Print Manager 3WJによる設定 3-1 インストール」の手順でコンピュータに「Planex PS Port」をインストールしておきます。
2. 「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが表示されます。



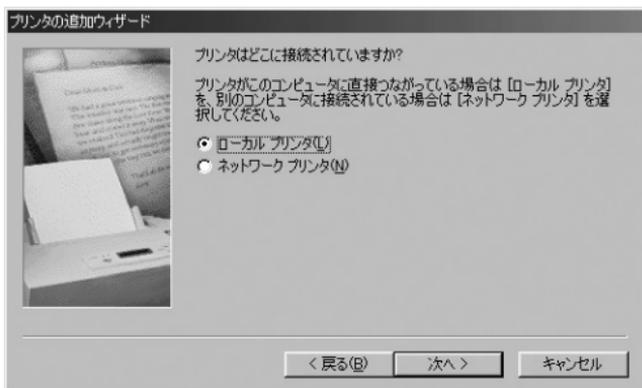
3. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。



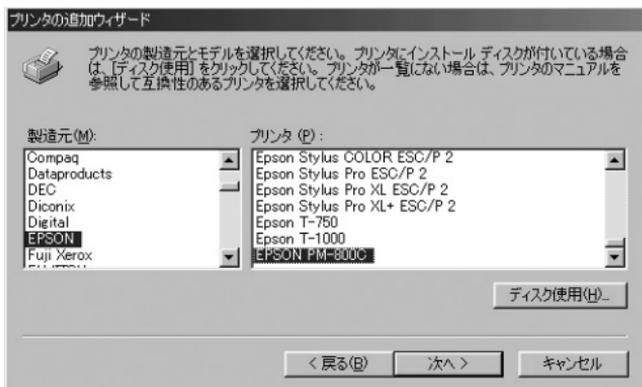
4. 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。



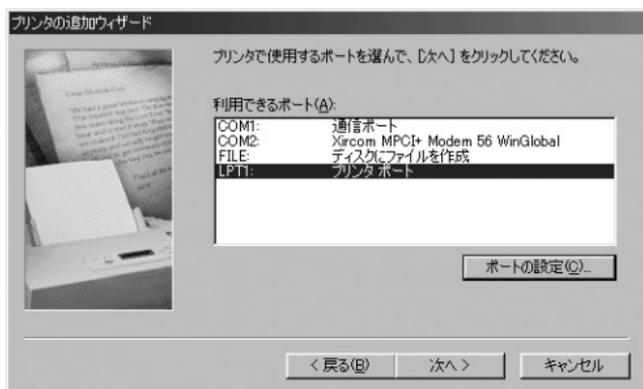
5. プリンタの接続先の確認画面が表示されますので「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



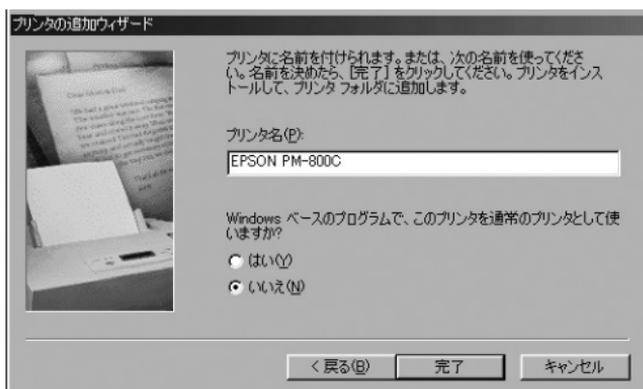
6. プリンタの選択画面が表示されます。プリンタのマニュアルを参考に、ご使用のプリンタの製造元とモデルをリストの中から選択して「次へ」をクリックします。



7. 「利用できるポート」の選択画面で「LPT1:」をリストの中から選択し、「次へ」をクリックします。



8. プリンタ名を変更する場合は、新しいプリンタ名を入力し「完了」をクリックします。



9. プリンタ設定が終了した後は、新しく作成されたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。



## 5

### コンピュータの設定

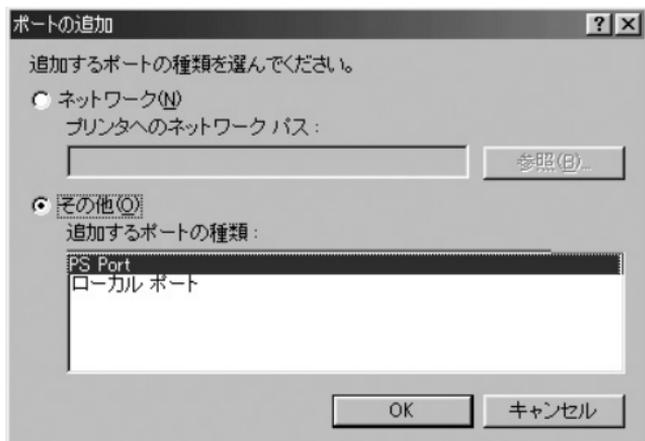
- 10.**「プリンタ」ウィンドウの「プリンタ」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。「プリンタ」のプロパティが表示されます。



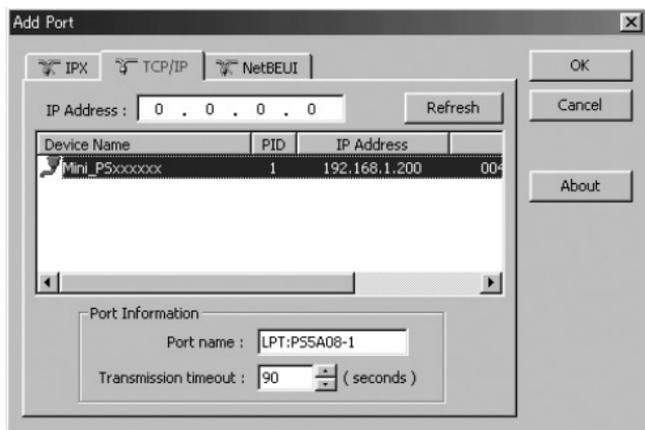
11. 「プリンタ名」のプロパティが表示されたら「詳細」タブをクリックします。その後「ポートの追加」をクリックします。



12. 「ポートの追加」ウィンドウで「その他」をクリックします。「追加するポートの種類」のリストから「PS Port」を選択し、「OK」をクリックします。



13. 「ポートの追加」が表示されます。使用するプロトコルタブを選択します。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバが表示されます。「PID」の欄に書かれているのはポート番号です。使用されるプリンタと接続されているポート番号を選択し、「OK」をクリックします。



\*ここではTCP/IPを例として設定しています。

14. 「印刷先のポート」の項目に書かれているポートを確認してください。



## 2 Windows 2000/XP

### ■Windows 2000プロトコルのインストール

本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。本製品プリントサーバを使用する場合は必要なプロトコルをインストールしてください。ここでは現在一般的に使用されているTCP/IPプロトコルについて説明します。

1. [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]を開きます。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続]→[ローカルエリア接続]を開きます。[プロパティ]をクリックします。

3. [ローカルエリア接続のプロパティ] が開きます。現在のネットワークの設定状況を表しています。各コンポーネントの左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。また、各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。

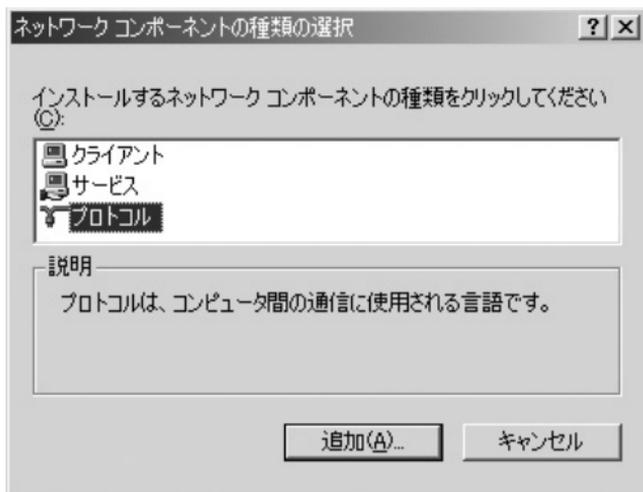


コンポーネントの中に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っていない場合は、以下の手順で各コンポーネントを追加してください。すでに「Microsoft用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っている場合は、7.に進んでください。

4. [インストール]をクリックします。



5. 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」 ウィンドウが開きます。「プロトコル」をクリックして [追加] をクリックします。



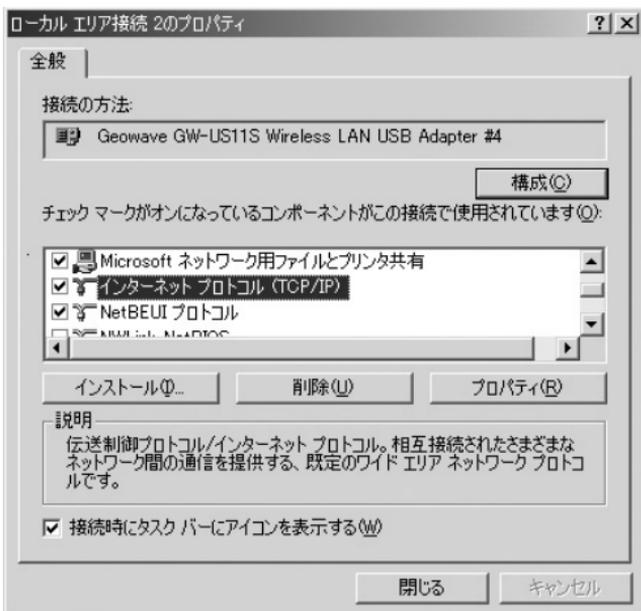
6. 「ネットワークプロトコルの選択」が開きます。「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、[OK] をクリックします。



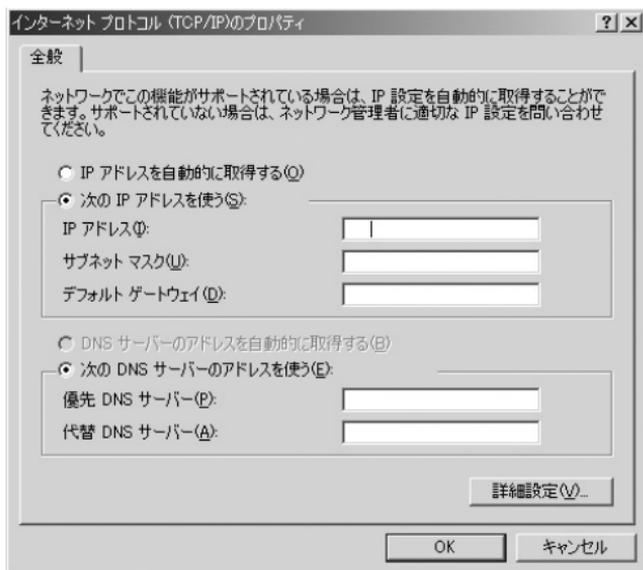
ローカルエリア接続のプロパティに「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されます。

「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。

7. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ(ネットワークアダプタ)ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。



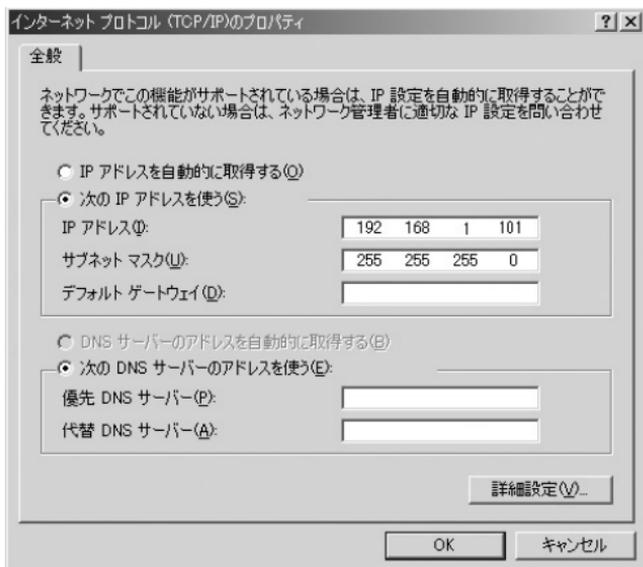
8. 初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「次のIPアドレスを使う」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。



### ⚠ 注意

ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

9. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。本製品には工場出荷時の設定で「192.168.1.200」が割り当てられていますので、コンピュータに「192.168.1.1～199、201～254」の中からIPアドレスを割り当てます。



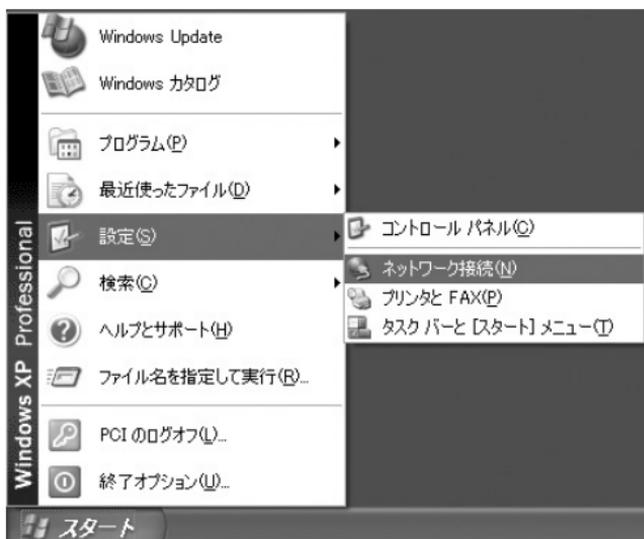
- 10.** IPアドレスの設定が終わったら[OK]をクリックし「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を開けてください。「ローカルエリアのプロパティ」で[OK]をクリックして閉じてください。「ローカルエリア接続状態」を閉じます。再起動を要求される場合がありますので、その場合は再起動してください。



## ■Windows XPプロトコルのインストール

本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。本製品を使用する場合は必要なプロトコルをインストールしてください。ここではWindows XP クラシックスタイルを例にあげて、現在一般的に使用されているTCP/IPプロトコルについて説明します。

1. [スタート]→「設定」→「ネットワーク接続」を選択します。



2. 「ネットワーク接続」が表示されます。現在ネットワークに接続されている「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



3. [ローカルエリア接続の状態]が表示されます。[プロパティ]をクリックします。



[ローカルエリア接続のプロパティ]が表示されます。現在のネットワークの設定状況を表しています。各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。

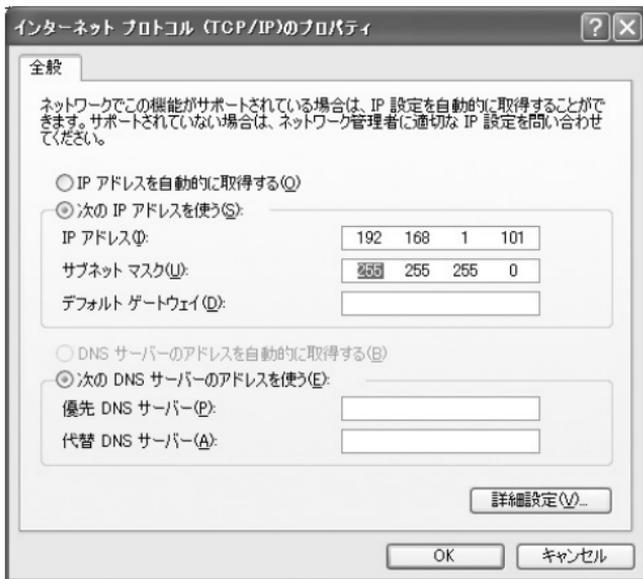


コンポーネントの中の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックマークが入っていない場合は、チェックマークを入れます。

4. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ(ネットワークアダプタ)ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。



5. 「次のIPアドレスを使う」をチェックします。ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス(Class C)として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。本製品には工場出荷時の設定で「192.168.1.200」が割り当てられていますので、コンピュータに「192.168.1.1～199、201～254」の中からIPアドレスを割り当てます。



### 注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。また、サブネットマスクは通信可能な範囲を決めます。サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合は、「xxx.xxx.xxx.1～254」の間の機器同士で通信可能ですのでこの範囲内で任意に固有のアドレスが設定できます。

6. IPアドレスの設定が終わったら[OK]をクリックし「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じてください。「ローカルエリア接続のプロパティ」で[OK]をクリックして閉じてください。「ローカルエリア接続状態」を閉じます。再起動を要求される場合がありますので、その場合は再起動してください。



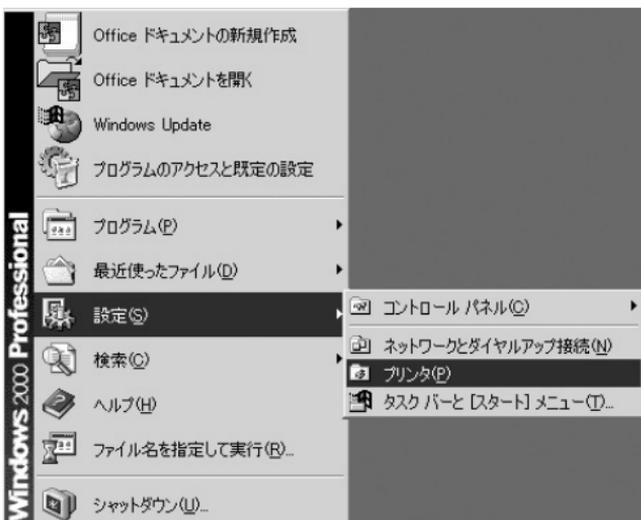
## ■Windows 2000/XPプリンタの設定（TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通）

すでにネットワークの設定が完了していることが前提です。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。

### ◎プリンタの設定(TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)

ここではTCP/IPを例として設定しています。基本的な設定はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通です。

1. Windows2000は「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックします。WindowsXPは「スタート」→「プリンタとFAX」をクリックします。



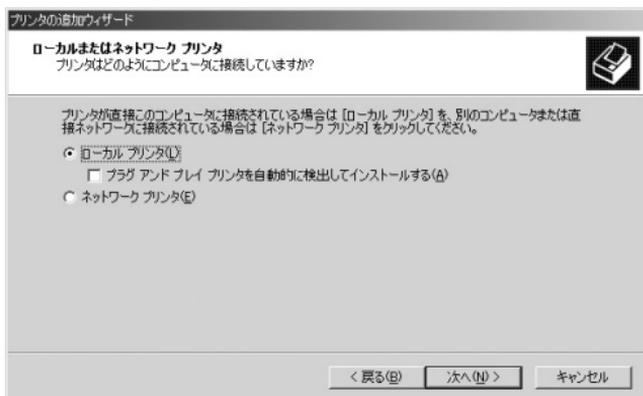
## 2. 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。



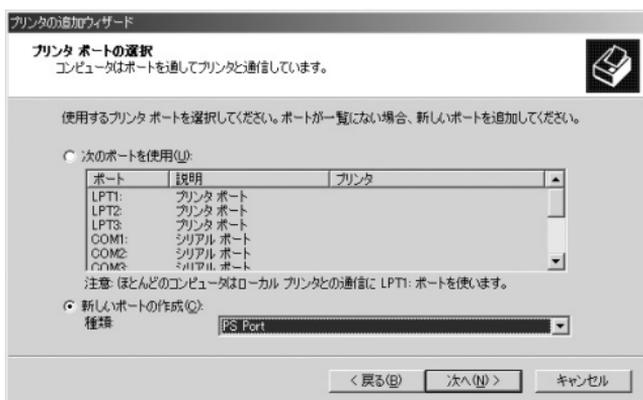
## 3. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。



4. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」が表示されます。「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「プリンタポートの選択」の選択画面が表示されます。「新しいポートの作成」項目をチェックします。「種類」リストから「PS Port」を選択し「次へ」をクリックします。



## 5

### コンピュータの設定

6. 「ポートの追加」が表示されます。使用するプロトコルタブを選択します。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバが表示されます。「PID」の欄に書かれているのはポート番号です。使用するプリンタと接続しているポート番号を選択して「OK」をクリックします。

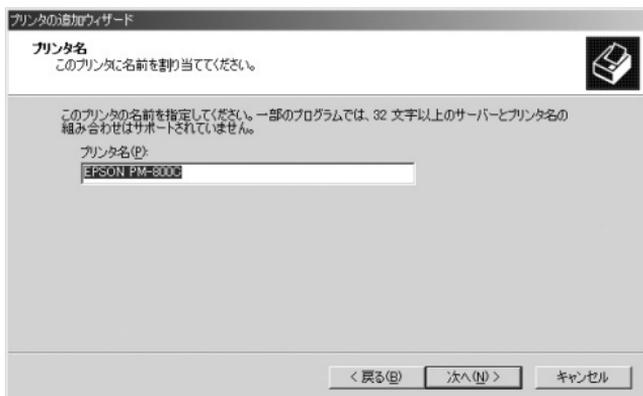


\* ここではTCP/IPを例として設定しています。

7. 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択します。



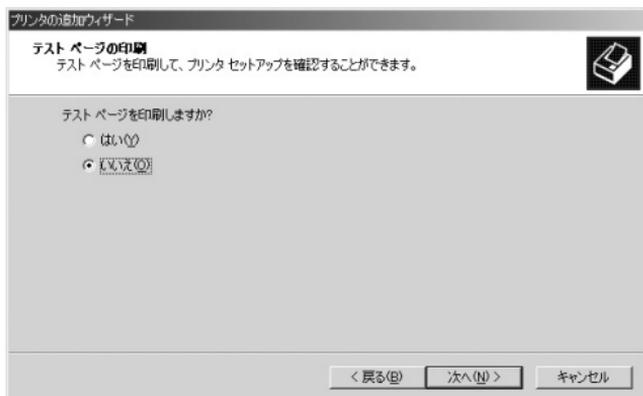
8. 「プリンタ名」が表示されます。プリンタ名を変更しない場合は「次へ」をクリックします。



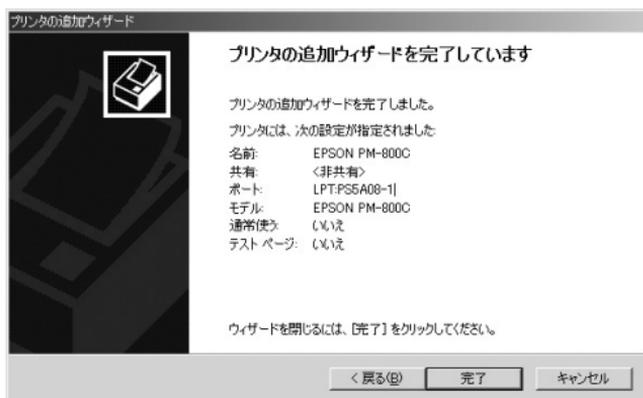
9. 「プリンタ共有」ウィンドウが表示されます。共有しない場合は「次へ」をクリックします。



10. 「テストページの印刷」が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択して「次へ」をクリックします。



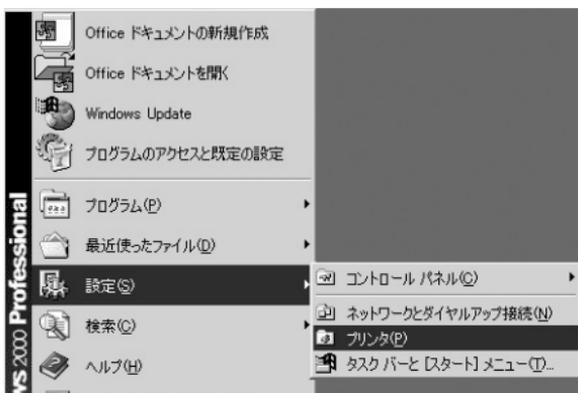
11. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」が表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」をクリックします。



## ◎プリンタの設定 (TCP/IP ポート印刷)

ここではWindowsXP/2000標準のTCP/IP ポート印刷の設定を説明します。LPRポートを使用して印刷をしない場合は「プリンタの設定(TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)」を参考に設定してください。

1. Windows2000は「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックします。WindowsXPは「スタート」→「プリンタとFAX」を選択してください。



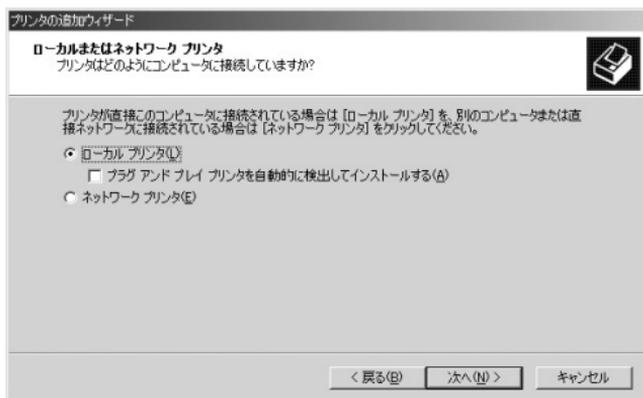
2. 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。



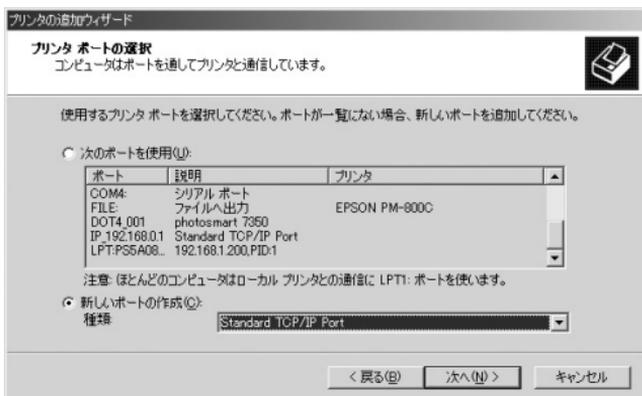
3. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。



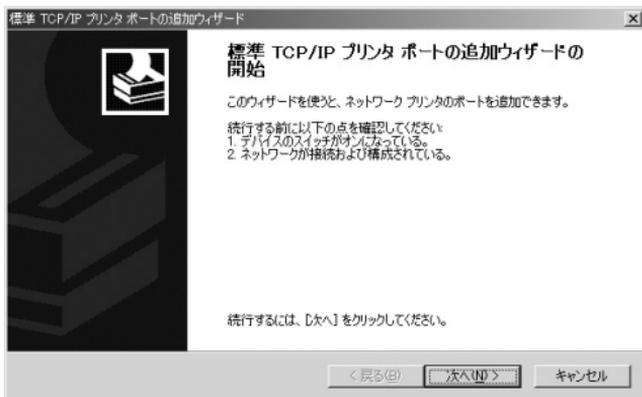
4. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」が表示されます。「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「プリンタポートの選択」の選択画面が表示されます。「新しいポートの作成」項目をチェックします。「種類」リストから「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



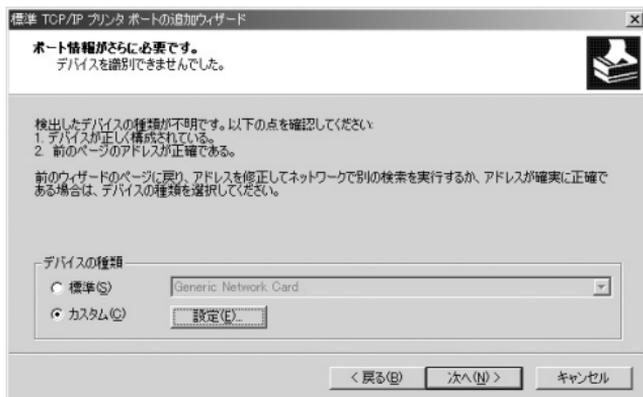
6. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。「次へ」をクリックします。



7. 「ポートの追加」が表示されます。「プリンタ名またはIPアドレス」に本製品に設定してあるIPアドレスを入力します。「ポート名」は自動的に入力されますので、そのままにしておいてください。[次へ]をクリックします。



8. 「ポート情報がさらに必要です。」が表示されます。「デバイスの種類」から「カスタム」を選択し、[設定]をクリックします。



9. 「標準TCP/IP ポート モニタの構成」が表示されます。「プロトコル」の設定を「LPR」にします。キュー名には「lp1」と入力し、[OK]をクリックします。



10. 「ポート情報がさらに必要です。」に戻ります。[次へ]をクリックすると「標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」が表示されます。[完了]をクリックします。



11. 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択します。



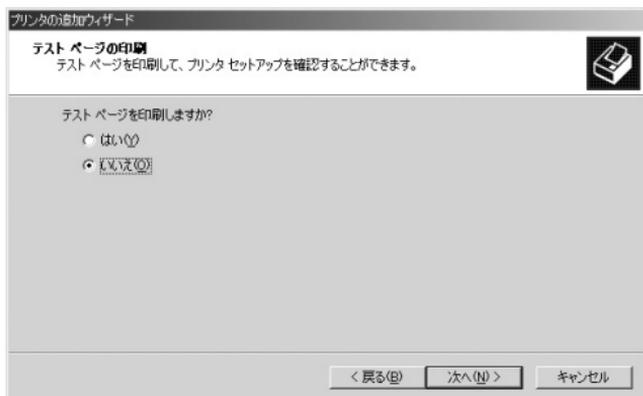
12. 「プリンタ名」が表示されます。プリンタ名を変更しない場合は「次へ」をクリックします。



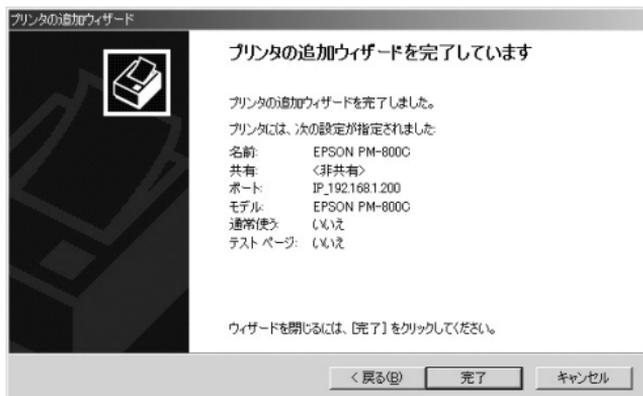
13. 「プリンタ共有」が表示されます。共有しない場合は「次へ」をクリックします。



14. 「テストページの印刷」が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



15. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」が表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」をクリックします。



## 3 Mac OS

AppleTalkネットワークプロトコルは、Mac OSバージョン8.0以上を使用したコンピュータ上で使用されます。AppleTalkは標準のイーサネットやファストイーサネットを使ったネットワーク通信で使用できるほか、より低速の専用プロトコル [LocalTalk トランスポート] でも使うことができます。

### 注意

本製品のネットワーク印刷は、PostScriptプリンタのみ対応可能です。PostScript以外のプリンタからの印刷には対応していません。

グラフィックデータなどのバイナリデータ出力時には、本製品のAppleTalk設定で、「データフォーマット」を「TBCP」または「BCP」に設定してください。

### <備考>

プリントサーバ上のポートに接続されているプリンタの「セレクト」名は、そのポート名と同じになります。AppleTalkでの印刷をおこなう場合は、AppleTalkを使用しているネットワーク全範囲内で、他のプリンタが同じポート名を使用していないことを確認してください。

## ■プリントサーバをAppleTalk用にセットアップ

AppleTalkでの印刷用にプリントサーバをセットアップするには、以下の設定をおこなってください。プリントサーバに接続されているPostScript プリンタを選択する方法は、使用中のプリンタドライバのバージョンにより若干異なります。以下に挙げる方法では、Laser Writer 8プリンタドライバの使用を想定しています。プリントサーバに接続されているプリンタをMac OS ワークステーションのデフォルトプリンタに設定するには、以下の設定をおこなってください。

### ■3-1. Mac OS 8.x / 9.x をお使いの場合

1. 「Apple」メニューから「セレクト」を選択し、セレクトを開いてください。
2. 右側の画面で、LaserWriter 8 アイコンを選択してください。また、AppleTalk が「使用」に設定されていることを確認してください。
3. ネットワーク上のすべてのPostScript プリンタが「PostScript プリンタの選択」にリスト表示されます。表示されている名前の最後がポート番号になります。
4. このプリンタをまだデフォルトプリンタとして設定していない場合、コンピュータは「プリンタ記述」(PPD) ファイルを確認してきます。使用中のプリンタ用のプリンタ記述ファイルを選択してください。リスト上で使用中のプリンタが見つからない場合は、「一般設定を使用」をクリックして「一般設定」を使用してください。今後この設定を使用される場合は、「セレクト」ウィンドウ内の「再設定」をクリックしてください。
5. これで選択されたプリンタがコンピュータのデフォルトのプリンタになりました。現在何かアプリケーションを開いている場合は、その中の「ページ設定」を選択する必要があります。

## ■3-2. Mac OS Xをお使いの場合

1. 本製品を使用するPCに、付属のプリンタドライバをインストールします。ドライバのインストール手順は使用するプリンタの説明書に従っておこなってください。プリンタメーカーのホームページなどでOS対応情報を確認し、最新版のドライバを入手することを推奨します。
2. 「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選択します。表示されるウインドウから「ユーティリティ」フォルダを開き、「プリンタセンター」を起動します。
3. 「プリンタリスト」ウインドウで「追加」をクリックします。
4. プルダウンリストから「AppleTalk」を選択し、「ローカル AppleTalkゾーン」を選択します。ウインドウ内に表示される本製品のポート名を選択します。
5. 「プリンタの機種」のプルダウンリストから、使用するプリンタ機種を選択し、「追加」をクリックします。
6. 「プリンタリスト」に戻ります。選択したプリンタが追加されたことを確認し、メニューバーの「プリンタセンター」から「プリンタセンターの終了」を選択します。
7. これでプリンタの設定は終了です。現在起動中のアプリケーションがある場合は、印刷する前にアプリケーションの「ページ設定」を選択し、設定を確認・変更する必要があります。

## 4 Linux

本製品はVine LinuxやRed Hat Linuxなど、任意のLinux環境で使用することができます。基本的にLinuxの印刷システムはBSDのシステムに基づきます。Linuxのディストリビューションごとにプリンタの設定方法がわずかながら違います。ここでは現在の代表的ディストリビューションのRedHatLinux7.2以降のX-Window環境での使用方法について説明します。

1. Linuxシステム上で本製品を使用するときはTCP/IPプロトコルを使用します。ご使用のLinuxシステムのIPアドレスを設定して、本製品と通信できるように設定してください。
2. ルート権限でLinuxにログインし、X-Windowを起動してください。
3. 「ここからスタート」アイコンをダブルクリックして開いてください。「システムの設定」アイコンをダブルクリックして開き、「プリンタ設定」アイコンをダブルクリックしてください。「Printconf-gui」が起動します。
4. 「Printconf-gui」から[新規]アイコンをクリックしてください。「新規プリンタの追加」ウィンドウが表示されますので、[次へ]をクリックしてください。
5. 「プリンタ名とタイプの設定」ウィンドウが表示されます。「プリンタ名」には任意の名前を入力してください。「プリンタタイプ」からは「UNIXプリンタ」を選択してください。[次へ]をクリックしてください。

6. 「UNIXプリンタの設定」ウィンドウが表示されます。「サーバ」には本製品に割り当てたIPアドレスを入力してください。「プリンタ」には「lp1」と入力してください。[次へ]をクリックしてください。
7. 「プリンタドライバの選択」ウィンドウが表示されます。ご使用のプリンタのドライバを選択して、[次へ]をクリックしてください。
8. 「完了、新規プリンタの作成」ウィンドウが表示されます。[完了]をクリックしてください。

# 追加機能

6

追加機能

**本** 製品は通常のネットワーク印刷機能のほかに、いくつかの追加機能が装備されています。本章では、追加された機能の概略について説明します。

## 1 IPP (Internet Printing Protocol)

本製品はIPPをサポートしています。IPPはインターネットを経由したプリントを実行するための最新のプロトコルです。Windows PCからプリンタへのインターネット経由で出力することができ、イントラインターネット上のプリンタでジョブを処理することによりネットワーク上のプリンタ管理を容易にします。インターネットプリンティングにはさまざまな活用がありますが、FAXの代用としても注目されています。例えば地方、海外支店のプリンタをFAXとして兼用または代用することにより、より鮮明な文書や画像を送ることが出来るだけでなく、インターネットを経由していることで大幅な通信費の削減を可能にします。

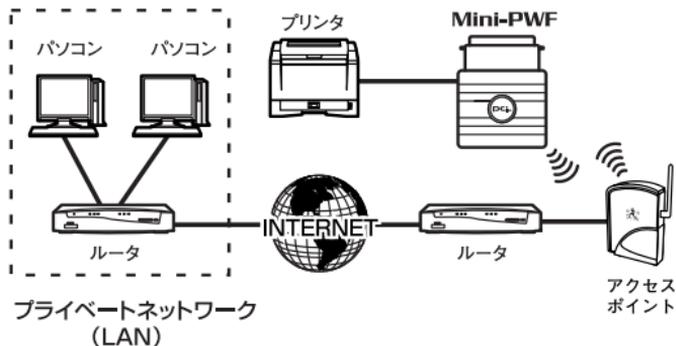
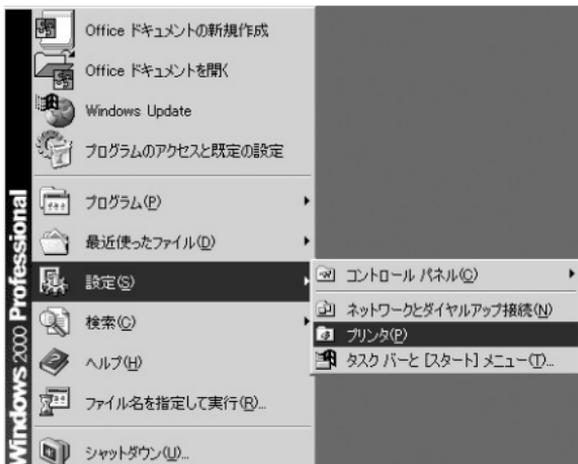


図6-1 IPPイメージ図

## ⚠ 注意

IPPはWindows 2000/XPでのみ標準で実装されています。Firewallが設置されているネットワークでは、送信されてくるIPPプリントリクエストが“アクセス許可”となるようFireWallを設定してください。

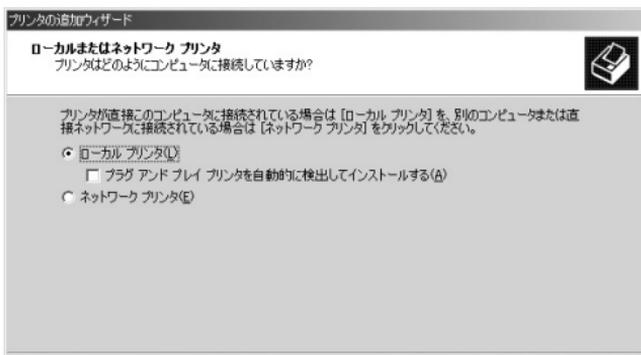
1. Windows2000は「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックします。WindowsXPは「スタート」→「プリンタとFAX」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが表示されます。



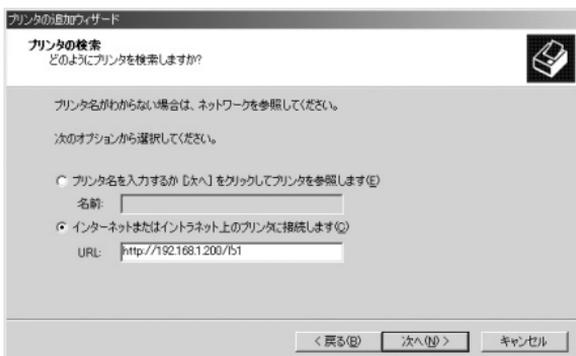
2. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。



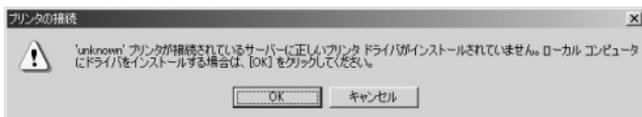
### 3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」が表示されますので「ネットワークプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



### 4. 「プリンタの検索」が表示されます。「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続」の項目をチェックしてください。チェックしたあと「URL :」の項目に本製品に設定したIPアドレスとプリンタに接続してあるプリントサーバのポート番号を入力します。入力形式は「http://xxx.xxx.xxx.xxx/lp1 (xxx.xxx.xxx.xxxはIPアドレス)」になります。「次へ」をクリックします。



5. 「プリンタの接続」が表示されます。[OK]をクリックします。



6. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択します。



6

追加機能

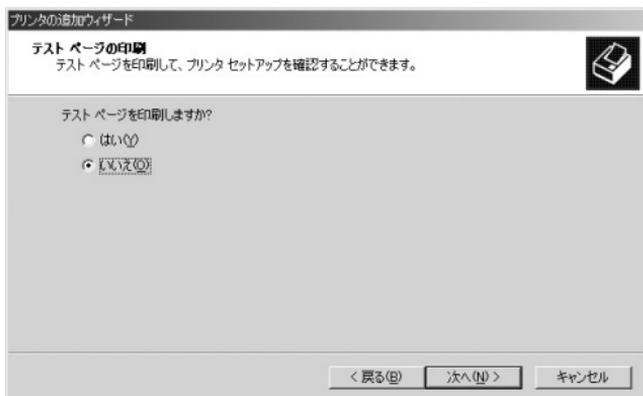
7. 「プリンタ名」が表示されます。プリンタ名を変更しない場合はそのまま「次へ」をクリックします。



8. 「プリンタ共有」が表示されます。共有しない場合はそのまま「次へ」をクリックします。



9. 「テストページの印刷」が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



10. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」が表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」をクリックします。



# トラブルシューティング

**本** 製品に接続した機器間の通信ができない場合は以下の点を確認してください。

## Q.印刷できないプリンタの種類は？

A.プリントサーバはプリンタからの信号をネットワークに返すことができません。従って「双方向パラレルポート」で動作させることが必須なプリンタ（「Windows Printing System」仕様のプリンタ等）の場合、プリンタからの信号が返ってこないためにプリンタドライバは「このコンピュータにはプリンタが接続されていない」と判断するため印刷することができません。一部のメーカーのようにオリジナルのスプールマネージャーを使うようなプリンタも使用できないことがあります。また、上記の理由からインクジェットプリンタのインク残量を見るような機能にも対応することができません。複合機（FAX、スキャナ、コピー等）でのご利用はできません。

**Q.EPSONのMJ/PMシリーズのプリンタで印刷ができない。**

A.以下の手順で設定を変更してください。

1. [スタート] → [プログラム] → [EPSON] → [スプールマネージャー] を開いてください。
2. 使用しているプリンタを選択して [プリントキュー] → [キューセットアップ] を開いてください。
3. 「全体」の「プリントマネージャーを使用する」をチェックして [OK] をクリックしてください。以上で印刷できるようになります。

**Q.インク残量や用紙切れの情報を確認できなくなった。**

A.本製品は双方向通信に対応していません。そのためプリンタドライバがプリンタからの情報を受け取れないために発生します。

**Q.HEWLETT PACKARDのDeskJetシリーズのプリンタで印刷ができない。**

A.双方向通信機能を無効にしてみてください。双方向通信機能の設定方法につきましては、HEWLETT PACKARD社のWebページ「テクニカルサポート」のページをご参照ください。

**Q.印刷がうまくいかない。**

**A.**以下の手順で双方向機能が無効になっているか確認してください。

1. 「設定」→「プリンタ」を開いてください。
2. プリンタドライバのアイコンにカーソルを合わせマウスの右ボタンをクリックしてください。メニューが表示されますので「プロパティ」を開いてください。
3. 「詳細」タブをクリックして「スプールの設定」をクリックしてください。
4. 「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」がチェックされていたら「サポートしない」に変更してください。

**Q .他のコンピュータが印刷中に印刷を実行するとエラーになってしまう。**

**A.**Windows NTサーバやNetWareサーバを経由しないで、直接プリントサーバに印刷データを送る環境で設定をしている時に発生します。回避するためにはWindows NTかNetWareサーバをネットワーク上に設置して、印刷データをサーバにスプールする（サーバ上に一旦データを貯めておく）ような環境にする必要があります。

**Q.TCP/IPで設定しようとしているが本製品が検出されない。**

**A.**IPアドレスは正しく設定されていますか。マニュアルに記載されているIPアドレスはあくまで例ですので、ご使用の設定によってはそのままマニュアル通りのIPアドレスを入力しても認識されません。IPアドレスの設定については「Smart Print Manager 3WJ」から本製品にIPアドレスを設定してください。TCP/IPネットワークの場合、全てのコンピュータと本製品に固有のIPアドレスを割り当てる必要があります。



## DIPスイッチ使用方法

DIPスイッチは通常、「N」（LED側）に設定されています。

- 1.** プリントサーバ背面にあるDIPスイッチを「D」（電源コネクタ側）に設定します。
- 2.** 本製品と通信するワイヤレスネットワークの設定を通信モード：IEEE802.11アドホック、ESS-ID：WLAN-PS に設定します。
- 3.** ユーティリティまたはWEBブラウザから検索してプリントサーバの設定を確認します。
- 4.** 必要であれば設定を変更します。
- 5.** 設定を保存します。
- 6.** 本製品を再起動します。
- 7.** DIPスイッチを元の位置に戻します。



## 仕様

C

仕様

項目	説明
品名	11Mbps 無線LAN対応 パラレルプリントサーバ
型番	Mini-PWF
対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE/98 Mac OS 8.x/9.x/X ※1 Linux ※2
対応プロトコル	TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、Apple Talk
アクセス方法	インフラストラクチャ、アドホック、802.11アドホック
規格	IEEE802.11b、IEEE1284
通信速度	11/5.5/2/1 Mbps 自動選択
通信距離	11Mbps 50m、5.5/2/1Mbps 150m(屋内見通し距離) ※3
プリンタインタフェース	36ピン セントロニクスパラレルポート×1ポート
LED表示	Status、WLAN
電源電圧	DC 3.3V
消費電力	最大 4W
動作温度	0~40℃
動作湿度	35~80%
寸法	62(W)×80(D)×29(H) mm
重量	65g
EMI	CE, FCC class B, VCCI class B

※1、Mac OSでご利用の際は、ポストスクリプト対応のプリンタのみ使用できます。

※2、Linuxでの動作を保証するものではありません。Linuxは弊社のサポート対象外です。あらかじめご了承ください。

※3、環境により上記距離を満たせない場合があります。

## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

**<http://www.planex.co.jp/user/>**

# 弊社へのお問い合わせ

## ■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

## ■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

## ■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

\* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

## ◇お問い合わせ前のお願ひ

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

## ■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注) 上記内容は2003年10月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

## 質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

**FAX : 03-5614-1018**

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name.	11Mbps 無線LAN対応 パラレルプリントサーバ
型番 Product No.	<b>Mini-PWF</b>
製造番号 Serial No.	

### ① INTERFACE CARD

メーカー	
型番	

### ② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

### ① ご使用のプリンタについて

メーカー	
型番	



# 保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

## 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

## ◎初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。  
プラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター  
フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018  
Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair/>
2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。  
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

## 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

# 保証書

●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●

保証期間 Warranty	西暦                      年                      月                      日 より 1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線LAN対応 パラレルプリントサーバ
型番 Product No.	<b>Mini-PWF</b>
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

## プラネックスコミュニケーションズ株式会社

